



第 54 号

編集・発行
 社会福祉法人
 沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1
 TEL 098-884-3173 (代)
 FAX 098-882-5688

電子メールアドレス : o.fukusi@okinawa-j.jp

ホームページ : http://www.okinawa-j.jp/



色よし、香り芳し
 神の御手の業、サンニン（月桃）の花
 命の歌が聞こえる
 ♪ここに わたしも 生きている♪

撮影者：都屋の里利用者 与座 信子

七月十二日の理事会で理事長を引き受けることとなり、大変身の引き締まる思いです。当事業団が平成十八年に沖縄県から県立の十二施設の経営移譲を受けて以来、経営を軌道に乗せるために、日夜努力をしてこられた呉屋前理事長はじめ、役職員の皆さんには心から敬意を表します。

当事業団も平成二十年に策定された「五か年経営計画」が順調に推移してきているとはいえず、今後も経営を確固たるものにするため、次期の経営計画の策定をはじめ、処理すべき課題も多々あります。

現在、当事業団が経営する十二施設がまだ公営の頃、福祉行政の担当として各施設回りをした際、重症心身障害児（者）施設の沖縄療育園を訪れた時の胸を締め付けられるような思い、また、具志川厚生園の確か百三歳だったと思いましたが、おばあさんからもらった手作りの手まりのことが、昨日今日のこのように脳裏に浮かびます。

今日、今日のこのように脳裏に浮かびましたのも何かの因縁と思っています。

少子高齢化が進んでいく中で、福祉に対するニーズも大きく変化してきており、また、これからも複雑多様化していくものと思えます。これらも国においても、そのようなニーズに合わせて制度改正等を考えているようでもあります。

このような中において、私も当事業団の経営理念であるサービスの質の向上、地域への貢献、そして組織基盤の強化を図っていくため、微力ながら全力を尽くしたいと考えています。

つきましては、当事業団の役員をはじめ、ご利用者やその家族、関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



**理事長
就任あいさつ**

理事長 花城 可長

常務理事就任あいさつ

常務理事兼事務局長 金城敏彦



この四月に常務理事兼事務局長に就任しました金城です。よろしくお願ひ致します。当事業団は、平成十八年度に沖繩県から経営移譲を受け、新たなスタートを切り、現在五年目に入っております。

また、少子・高齢化に伴い社会福祉制度が急速に施設から地域生活支援に移行する変化の中で、当事業団が、福祉変革にふさわしい、真に自立した社会福祉法人として転換するために策定した「五か年経営計画」の中間年でもあります。

民間化五年目に当たり、この間の、職員のみなさまの協力のおかげで、ようやく、安定した経営基盤確立の道筋が見えてきたところであります。「人は財なり」我が事業団の財産は、福祉に関する高い志、豊富な経験と知識・技術を持った職員そのものであります。職員一人ひとりのマンパワーこそ、事業団改革の大きなエネルギーであります。

就任に当たり、当事業団の理念を強く自覚して、広く地域や関係機関等から確固たる信頼を得られるよう職員のみなさまの一層のご協力を心からお願ひ致します。

施設長就任あいさつ

養護・特別養護老人ホーム 名護厚生園 園長 宮里淳



私は、二十八年間、名護市にある重症心身障害児(者)施設において療育業務に従事していました。ご縁があり四月一日より、名護厚生園の施設長職を拝命することになりました。

この二か月、これまでとは違い、施設経営というその職責の重大さに自分で大丈夫だろうか、不安で戸惑っておりますが、事業団の諸先輩方のご指導、これまでの培った経験と職員の皆さんの協力を得て、この重責を果たしていきたいと思ひます。

日々、介護を必要とする高齢者が増加する中、老人福祉施設の役割は益々重要になっております。事業団職員倫理綱領に掲げられている利用者一人ひとりの「尊厳」の保持を第一に利用者や家族の皆様と円滑なコミュニケーションを図り、全職員が専門職として、施設職員としての使命と役割を自覚し、日々研鑽に努め、利用者の皆様が安全で安心できる「笑顔」のあふれたサービス提供を職員一丸となって取り組んでいきます。

地域においては、施設を開放し、地域の皆様が気軽に足が運べるよう、積極的に交流を促進し、地域福祉の向上に努めていきますので、今後とも皆様のご指導ご協力を宜しくお願ひします。

平成二十二年事業計画 (主要事業等)

平成二十二年度は沖繩県社会福祉事業団五か年経営計画の中間年(三年目)にあたり、経営計画推進プログラムに基づいて経営理念である「利用者本位のサービスの質の向上」と「経営基盤の強化」さらに「地域貢献」に取り組んでまいります。

経営方針

- 一、利用者の人権を尊重し、安全・安心・快適なサービスの提供に努めます。
- 二、経営改革の視点と意欲を持ち、透明性が確保され、効率的でバランスのとれた健全な経営に努めます。
- 三、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域との共生・協働につとめ、地域に密着した福祉事業を展開します。

経営目標

- 一、サービスの質の向上
- 二、法人の社会機能の強化
- 三、財務基盤の安定化
- 四、施設整備
- 五、人事管理
- 六、法人の組織強化

《経営目標達成に向けての取り組み事項》

- 一、サービスの質の向上(信頼と安心のサービスを目指して)
 - (一) 職員倫理綱領の周知徹底
 - (二) 苦情解決システムの有効性ある運用
 - (三) サービス評価の取り組み
 - (四) リスクマネジメント体制の構築
 - (五) 利用者の意見聴取(投書箱の有効活用)
 - (六) 情報開示・提供体制の整備
 - (七) ISO9001の継続運用
- 二、法人の社会機能の強化(社会的使命の遂行のために)
 - (一) 在宅福祉事業の推進
 - (二) 専門技能等を活かした地域福祉支援
- 三、財務基盤の安定化(自立経営の実現を目指して)
 - (一) 予算策定
 - (二) 経営対策協議
 - (三) 実績会議
 - (四) 経営分析
 - (五) 支出管理
 - (六) 新給与システムの開発
 - (七) 未収金管理
 - (八) 公益資金の積極的活用
 - (九) 調理業務の委託
- 四、施設整備(利用者の快適生活と地域貢献を目指して)
 - (一) 各施設の機能強化及び新規事業に伴う新築・増改築
 - (二) 老朽施設の全面改築
 - (三) 利用者の快適生活と事故防止のための施設改修
- 五、人事管理(学習と成長の組織を目指して)
 - (一) 人事管理方針の確立
 - (二) 管理者及び専門性の育成
 - (三) 福祉制度変革及び地域と密着した経営の構築
- 六、法人の組織強化(実効性のある組織を目指して)
 - (一) 法人組織の整備
 - (二) 本部事務局の機能強化
 - (三) 組織及び職員配置の弾力的対応
 - (四) 職員の資質の向上と職場の活性化
 - (五) 全国救護施設研究協議大会の開催
 - (六) 職員の経営意識の高揚
 - (七) 広報活動の推進と関係機関との連携
 - (八) 施設機能の地域開放
 - (九) 関係機関との連携強化

ふれあいピクニック



知的障害者更生施設 あげぼの学園

生活支援員 佐久田 政幸

平成二十二年五月三十日(日) 利用者が楽しみにしているふれあいピクニックを実施しました。前日までの雨も上がり、十時には正門前にて出発式。早速大型バスで東平安名崎へ向け出発。



今回は、宮古テレビでおなじみの冨子おばあがガイド。方言は大会でも優勝する程で車内はみやうく方言でおもしろおかしく話をし、終始笑いが絶えませんでした。普段は、表現の苦手な利用者も笑い声をだし笑顔が見えました。昼食は雨が降ってきたので宮国国民館を利用し、弁当を食べていた利用者は、美味しいと満足そうに話されていました。ご家族からも「バスガイドもいて久しぶりに笑ったサー。上等」と喜ばれていました。



春の遠足



指定障害者支援施設 北嶺学園

生活支援員 上里 育子

梅雨の晴れ間にのぞく太陽の下、五月十八日沖繩文化王国玉泉洞ワールドに出かけました。久し振りの園外行事で、気分は最高潮、バスの中ではカラオケやレクで盛り上がり、王国村では大迫力のエイサーも間近に見ることができ、観光客の皆さんと一緒にカチャーシーを楽しむ様子やシヨップでアイスクリームと冷たい飲み物を飲んだりトリフレッシュすることができました。



ご家族の参加もあり、共に過ごす利用者の笑顔は日頃、見られる笑顔とは違い、格別なもので、ご家族との関わりが利用者にとつてどれほど幸せをもたらすのかわかる良い機会となりました。



施設だより

沖繩コカ・コーラ ボトルリング工場見学



身体障害者療護施設 都屋の里

利用者 天願 哲康

五月十九日(水) 利用者三名、職員三名で浦添市伊祖にあるコカ・コーラの工場見学に行きました。午前十一時に園を出発、サンイー経塚シェイの和風亭でおいしい昼食を頂きました。三時頃、コカ・コーラの工場に着きました。工場に入ると直ぐに会議室に案内され、サービスのコーラを飲みながらコカ・コーラの歴史と製品が出来るまでの映像を見ました。



コカ・コーラが日本で初めて販売されたのは、大正時代。沖繩での販売は、昭和二十六年から始まったという話でした。説明の後にエコバッグのプレゼントを頂きました。

その後、工場に行きました。廊下から、ガラス越しに生産の様子を見ました。見学した日は暑かったので、冷たいコーラがとても美味しかったです。



浜下りを終えて



婦人保護施設 うるま婦人寮

生活指導員 町田 宗広

四月十七日(土) 利用者・職員合わせて十二名が糸満市の北名城ビーチで「浜下り」を行いました。当日は天候も良くお昼前には浜へ到着、テントの下で大海原を眺めての昼食は格別で、重箱料理を美味しくいただきました。沖繩では旧三月三日に女子は浜に下り、身を清めるといふ慣行があり、当日も浜は家族連れや団体で賑わいお祭り気分を味わう事が出来ました。さて、収穫物はと言うと大漁で、アサリ・ハマグリ・タカセ貝・カニ、エビとハリセンボン・イダコは一匹ずつで、皆でバケツを囲み見ては触れ、更にハリセンボンが膨れる様には大いに驚かされました。利用者や引率した職員も「浜下り」で日常を離れ、海の風を感じる穏やかで楽しい一日を過ごす事が出来ました。



「浜下り」で日常を離れ、海の風を感じる穏やかで楽しい一日を過ごす事が出来ました。



よろしく
お願いします



平成二十二年
新採用職員名簿

★事務局
(事務員) 當間 聖子

★沖繩療育園
(理学療法士) 神里 義嗣
(理学療法士) 松堂 編
(第II種介護員) 古波 敏子
(第II種介護員) 渡久 紀子

★都屋の里
(第II種介護員) 島尻 清美
(第II種介護員) 上地 由樹

★北嶺学園
(第II種介護員) 島地 清美

★よみたん救護園
(第II種介護員) 島袋 美和子

★いしみね救護園
(第II種介護員) 前泊 秀斗
(第II種介護員) 屋宜 枝美子

★名護厚生園
(事務員) 嶺井 優子
(介護支援専門員) 大嶺 希野

★具志川厚生園
(第II種介護員) 宮城 庄寿
(第II種介護員) 喜屋武 雄樹

★宮古厚生園
(第II種介護員) 若林 宏明

★八重山厚生園
(事務員) 山内 清香
(介護支援専門員) 野村 恵美

(第II種介護員) 我那覇 美穂子

ニューフェイス紹介

事務局 事務員 當間 聖子



都屋の里で嘱託職員として四年、事務局で契約職員として一年勤務し、事業団に勤めて六年目の今年、正規職員に採用されました。心機一転、新たな気持ちで業務に励んでいます。法人本部で働く事に、緊張や戸惑いを感じる事が多々ありますが、まだまだ知識不足で未熟な私には、学び得る事が多く、毎日が勉強です。これから職責を果たせるよう、自己の知識向上を心がけ、持ち前の明るさで頑張りますので、ご指導よろしく願います。

重度心身障害児(者)施設 沖繩療育園
理学療法士 松堂 敏広



平成二十一年四月、沖繩療育園の契約理学療法士として勤めさせて頂き、今年四月から気持ちも新たに正規職員として勤務させて頂いております。日々、利用者が快適な生活を送れるように、独自の専門性をもって発達援助や姿勢管理、機能練習などを支援していく中、利用者から多くの事を学ばせて頂いてあります。また、理学療法士の枠にとられず他の職員とも協力し、ひとつでも多くの利用者やご家族の笑顔が見られます様に、これからも頑張らせて頂きたいと思っております。

身体障害者療護施設 都屋の里
第II種介護員 島尻 清美



嘱託職員として採用され、四年七月分。本年度より正規職員として採用になりました。以前は接客業に従事していたのですが、介護の仕事をやってみたくてという気持ちで日に日に強くなり、都屋の里に勤める事になりました。当初は介護経験がないことで不安や戸惑いもありましたが、先輩職員や利用者に助けられ頑張ることができました。まだまだ未熟ですが、利用者の方々が楽しく生活できる様、頑張っていきたいと思っております。

指定障害者支援施設 北嶺学園
第II種介護員 上地 由樹



専門学校を卒業して初めての社会人として北嶺学園で勤めさせていたたく事になり二年が経ちました。毎日が、初めての事ばかりであったという間に時間が過ぎました。そんな中、不慣れな私に利用者や先輩職員が、優しく接してくれた事で自分を出しているようになり、怒ったり、毎日みんで笑ったり、怒ったりして、一緒に過ごせる時間を大切に利用者の健康・安全を第一に頑張っていきたいと思っております。これからも学ぶ事は沢山あり、足りない部分もありますがよろしく願います。

救護施設 よみたん救護園
第II種介護員 島袋 美和子



よみたん救護園に嘱託職員として採用され二年が経ちました。デイサービスの経験はない私でしたので当初は、慣れない環境の中、日々葛藤してました。今では、先輩や周りの職員の助言を頂き一歩ずつ成長し、正規職員として採用して頂く事となりました。気持ちを新たに日々向上心を持ち利用者一人ひとりの思いを受け入れながら、自立に向けての支援が出来るよう取り組んでいくつもりです。まだ経験不足で、至らない点も多いと思いますが、信頼ある職員を目指し、日々の業務に努めます。

救護施設 いしみね救護園
第II種介護員 前泊 秀斗



嘱託職員から、今年四月正規職員として採用になり、とても嬉しく思います。救護園では、利用者の方々が安心して快適に楽しく過ごせるよう、日々模索しながら頑張っています。また、利用者の方々から学ぶこともたくさんあり、充実した日々を送っています。

まだまだ未熟ですが、先輩方から知識や技術をしっかりと学び自分の物にし、初心を忘れず日々成長していきたいと思っております。皆さんよろしく願います。

ニューフェイス紹介

養護・特別養護老人ホーム 名護厚生園

介護支援専門員

大嶺 希野



名護厚生園居宅支援事業所に契約職員として採用され一年。今年四月より正規職員として採用して頂き、昨年以上に気を引き締めて日々の業務に

就いているところです。在宅にお住まいの方と関わりを持つ中で、改めて在宅支援の大変さや難しさを痛感し、くじけそうになることもありますが、上司や同僚の方々、利用者や家族の笑顔に助けられながら頑張ることができています。これからもたくさんさんの難題が待ちかまえていると思いますが、利用者によりよい支援が行えるように、自分自身ももっと勉強し視野を広げられるように努力をしていきたいと思っております。

養護・特別養護老人ホーム 具志川厚生園

第Ⅱ種介護員

喜屋武 雄樹



平成二十年三月から嘱託職員として具志川厚生園で勤務させていただいて三年目に入った今年の四月に、沖縄県社会福祉

事業団の正規職員として採用されました。

私はまだ未熟な部分が多いため、園長や副園長、課長をはじめ各エリアの先輩方から助言や指導を受け、成長できるように日々努力をしています。それは、一人ひとりの利用者に合った介護を提供していく、利用者には喜ばれるような職員になりたいからです。

明朗快活に業務を行い毎日を充実させていく気持ちで満々です。

養護・特別養護老人ホーム 宮古厚生園

第Ⅱ種介護員

若林 宏明



初めまして。宮古島へ移住して六年目になり、週に数回、無性に宮古そばが食べたくなる、埼玉県出身の若林宏明です。

宮古厚生園で楽しく仕事をさせてもらい、幸せな充実した日々を過ごさせてもらっていることに感謝感謝の毎日です。昨年は長男が産まれ、生活が子供中心に変わり、毎年の目標でもあった宮古島トライアスロン大会に出場しませんでした。仕事と育児の両立、ここに趣味のトライアスロンが加わるように、楽しく前向きに頑張りたいです。

養護・特別養護老人ホーム 八重山厚生園

介護支援専門員

野々村 恵美



石垣島の海と自然に魅了され、五年前に大阪から石垣島へ移住してきました。

大阪では保健師として仕事をしていたのですが、石垣島では初めて介護支援専門員として仕事を始め、

あつと言つ間に五年が経過しました。この医療・保健・福祉の仕事に就いて十数年経ちますので、新規採用の初々しさには欠けてしまっていますが、利用者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるように、今までの経験だけに頼らず日々努力していきたいと思つています。

施設長リレーエッセイ



養護・特別養護老人ホーム 八重山厚生園

園長 根間 武男

ペットとモラル

泥棒避けにと友人から貰ったのが柴犬の雌、その名を「フン姫」と言った。放浪癖があり慣れるまでの間の策も講じてくれた。頃合いを見計らい紐を解いてみたが彼女の知恵が勝っていた。自由を求めて遊び回ること度々、その都度探し回った事を懐かしく思い出す。子犬が二匹生まれた。一匹は産後間もなく亡くなった。初産であったこともあり育児は未熟であった。些細な(?)ことでオロオロし応援を求めた。夜中であろうとお構いなしに。呼び名を「ちび」と言った。成犬になっても名

の死は心の空虚感を生んだ。動物は日常生活に潤いを与え癒しも与えてくれる。人間にとつてかけがえのないものと小生は思う。毎年、九月は動物愛護月間と定められ色々な催しが行われ、共に生きる社会を啓蒙する活動が行われている。悲しきかな、飼いきれなくなると野良犬、野良猫を増やし、また公園等では勝手に餌づけする光景を時に目にする。一寸無責任年間一万三千頭の犬猫が本県では殺処分されていると聞く。この現実をどう受け止めればいいのか、人間のモラルが問われているように思う。

三ヶ月頃までは愛くるしく可愛いペットで飼いたいと人間に錯覚させるのはこの頃まで。十数年が経過した。早いスピードで年輪を重ね、気が付けば飼主を越え老犬に。耳も遠くなり動作も緩慢に。風が吹こうが雨が降ろうが彼らの日課とともに過ごす日が終わりを告げた。母犬に続き、癒しを沢山与えてくれた彼も昨年九月、十四年の寿命を全うし昇天した。家族の一員でもあった彼ら



事務局通信

【資格取得者紹介】平成二十一年度

★社会福祉士 資格取得

よみたん救護園 名嘉 克文 (生活指導員)
うづるま婦人寮 玉那覇 梢子 (生活指導員)
呉志川厚生園 花城 裕康 (生活相談員)

★精神保健福祉士

沖繩療育園 宮里美奈子 (児童指導員)

★介護支援専門員

八重山厚生園 新井 克紀 (支援員)
呉志川厚生園 又吉 陽子 (介護支援専門員)

★介護福祉士

沖繩療育園 稲福 やよい (介護員)
八重山厚生園 宮城 奈津子 (介護員)
都屋の里 よみたん救護園 宮城 奈津子 (介護員)
呉志川厚生園 宮里 優子 (介護員)
宮古厚生園 宮古 宗紀 (介護員)
宮古 義史 (介護員)
生田 真辰 (介護員)
長浜 宗紀 (介護員)
石川 明美 (介護員)
砂川 明美 (介護員)
佐藤 浩太 (介護員)
金城 健太 (介護員)
玉元 有利 (介護員)
安里 有利 (介護員)
我那覇 美穂子 (支援員)
砂川 理野 (介護員)

おめでとう
おめでとうございます

平成22年度「紺碧沖繩」刊行委員

編集委員

委員長 井口 智 (事務局)
副委員長 宮城 貴子 (事務局)
編集委員 田端 健 (北嶺学園)
真謝 孝雄 (都屋の里)
山内 久美 (いしむね救護園)
友寄 裕貴 (名護厚生園)

リポーター

上原 邦子 (沖繩療育園)
安田 みゆき (湊水学園)
下地 龍一郎 (よみたん救護園)
島袋 和子 (よみたん救護園)
平田 真由美 (よみたん救護園)
上原 直美 (宮古厚生園)
川根 直美 (宮古厚生園)
豊川 とき子 (八重山厚生園)

役員・評議員紹介

第二十一期役員(任期平成二十二年七月十一日~平成二十四年七月十日)

理事長 花城 可長 (元沖繩県政策調整監)
常務理事 金城 敏彦 (元沖繩県社会福祉事業団事務局長)
理事 幸地 啓子 (沖繩県社会福祉事業団事務局長)
理事 上原 豊充 (税理士、社会福祉経営研究所 代表取締役)
理事 比嘉 嘉佑 (日本赤十字社沖繩県支部事務局長)
理事 小渡 玲 (沖繩県社会福祉事業団事務局長)
理事 倉持 輝幸 (八重山厚生園 園長)
監事 森山 順子 (公認会計士、倉持公認会計士事務所所長)
監事 倉持 輝幸 (公認会計士、倉持公認会計士事務所所長)
監事 森山 順子 (元沖繩県福祉保健部 監査指導班副参事)

第四期評議員

金城 敏彦 (沖繩県社会福祉事業団常務理事)
照屋 寛 (元沖繩県社会福祉事業団事務局長)
上地 武昭 (沖繩大学人文学部教授)
神山 和義 (前都屋の里園長)
花城 清善 (沖繩県老人クラブ連合会会長)
宮城 泰雄 (沖繩県民生委員児童委員協議会会長)
田中 寛 (沖繩県母子寡婦福祉連合会会長)
与那嶺 清子 (沖繩県手をつなぐ育成会会長)
松島 義昭 (沖繩銀行 常務取締役)
宮里 尚安 (元沖繩療育園父母の会会長)
名護 千三 (元沖繩療育園父母の会会長)
平田 実 (北嶺学園父母の会会長)
根間 武男 (八重山厚生園 園長)
比嘉 憲次 (呉志川厚生園 園長)



平成21年度 事業実績(主要事業等)及び決算報告

当事業団は平成二十年度から平成二十四年度までの五か年間の「沖繩県社会福祉事業団経営計画」を策定し、実施に取り組んでいるところであります。平成二十一年度は経営計画二年目にあたり経営計画推進プログラムに基づいて「利用者本位のサービスの質の向上」と「経営基盤の強化」さらに「地域貢献」に取り組んでまいりました。経営計画に基づいた主要事業実績(取り組み結果)を報告いたします。

一、サービスの質の向上
ア、利用者の人権・権利を明確にし、福祉施設職員として職業倫理の指針となる倫理綱領・施設職員行動基準を全施設において掲示しました。
イ、「福祉サービス第三者評価」を名護厚生園において受審し、サービスの質の向上に努めました。
ウ、リスクコンサル受審施設において、事故防止体制の検証と助言に基づき、電動低床ベッドの計画的購入、浴室、トイレの改修等の改善に取り組みました。

二、法人の社会機能の強化
ア、訪問介護、居宅支援事業について圏域事業所との連携強化により、短期入所事業も含め利用者の増加に繋がりました。
イ、北嶺学園では、障害者自立支援法における新体系への円滑な移行を目指し、日中活動の見直し、新たな生産活動の実施等に取り組み、移行準備を完了しました。

三、財務基盤の安定化
ア、全経理区分で経営計画に基づいた予算を策定しました。
イ、実績会議では、各施設から報告され

た情報を経営対策監が共有することにより、同類施設の今後の経営改善への活用、法人全体の統一した取組等を検討・決定し実践に繋がりました。
ウ、共同募金、障害者自立支援法関連等から助成を受け、福祉車輛二台、作業車輛、耕耘機、居室整備を行いました。
四、施設整備
ア、沖繩療育園は機能訓練の強化を図るため、理学療法士の増員と機能訓練室を増築し利用者サービスの向上を図りました。
イ、八重山厚生園は新規に通所事業の検討委員会を立ち上げ圏域調査や事業の検討に取り組みました。
ウ、湊水学園・あけぼの学園の全面改築に向けて、圏域調査の実施、利用者定員の設定、児・者併設施設の検討を行いました。
五、人事管理
ア、正規職員への登用として、二年以上の勤務歴があり、介護福祉士等の資格を有する嘱託職員から第二種介護員へ十一名を選考採用しました。
イ、地域利用者の需要増に伴い、名護厚生園と八重山厚生園に介護支援専門員とサービス提供責任者を増員しました。
六、法人の組織強化
ア、理事会・評議員会で上下半期毎に各施設の運営状況等事業実績の報告説明を実施しました。
イ、事務局による、決算、事業実績による経営分析及び同類施設の対比、経営計画の進捗状況等の説明会を全施設において実施しました。
ウ、ボランティアやホームヘルパーの養成実習をはじめ、各種福祉・医療・教育関係者の実習等を積極的に受け入れ、福祉人材育成に取り組みました。

事業活動収支計算書

(自)平成21年 4 月 1 日 (至)平成22年 3 月 31日

第 3 号様式

(単位：円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 本年度決算, 前年度決算, 増減. Rows include 事業活動収入支の部, 事業活動外収支の部, 特別収支の部, 繰越活動収支差額の部.

資金収支計算書

(自)平成21年 4 月 1 日 (至)平成22年 3 月 31日

第 1 号様式

(単位：円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 経常活動による収支, 施設整備等による収支, 財務活動による収支, 予備費, 当期資金収支差額合計.

貸借対照表

平成22年 3 月 31日現在

第 5 号様式

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (流動資産, 固定資産), 負債の部 (流動負債, 固定負債), 純資産の部.

脚注 1. 減価償却費の累計額 548,594,066円
2. 徴収不能引当金の額 131,476円
3. 移行時特別積立金の不足額 円

財産目録

平成22年 3 月 31日現在

第 6 号様式

(単位：円)

Table with 2 columns: 資産・負債の内訳, 金額. Rows include 1. 資産の部 (流動資産, 固定資産), 2. 負債の部 (流動負債, 固定負債), 差引純資産.

栄養士の おすすめレシピ



～ちょこつとメモ～

ハンダマは、鉄分、ビタミンA、B2を含み、沖縄では古くから“血の薬・老化予防の薬”と言われています。

貧血予防、視力回復、眼乾燥症、角膜乾燥症に良いとされており、葉裏の赤紫色にはポリフェノールを含み抗酸化作用があり、薬草の一つとして重宝がられています。

ハンダマ（水前寺菜）の和え物

指定障害者支援施設 北嶺学園 管理栄養士 な か え つ こ 名嘉悦子

材料名 (4~5人分)	分量
●ハンダマ (水前寺菜)	400g
●玉ネギ	50g
●ツナ缶	80g
●和風ドレッシング	適宜



《作り方》

1. ハンダマの葉を摘み、水洗いして、熱湯にくぐらせ冷やし水気を切っておく
2. 玉ネギは、薄くスライスする
3. ①、②とツナをドレッシングで和える



北嶺学園 農園

具志川厚生園 ～訪問・居宅介護支援事業～

ご案内

訪問介護事業

具志川厚生園訪問介護事業所は、住み慣れた地域で、住み慣れたご自宅で、安心して暮らしていただけるようお手伝いさせていただきます。

主なサービス【訪問介護事業】

介護支援専門員が作成した、ケアプランに沿ったサービスの提供

- ①身体介助…入浴介助や食事介助などの日常生活の手助けを行います。
- ②生活援助…一般的な調理、洗濯、買い物など利用者様の自立支援のお手伝いや、ご家族の負担軽減の為に生活上のサービス提供を行います。

サービスを利用するには

市町村に申請し『要支援』『要介護』と認定を受けた方がご利用できます。

サービス提供時間

毎日午前7時から午後10時までの間サービス提供が可能です。

※ご相談・お問い合わせは下記までお願いします。



電話：098-972-7494
担当：山城しのぶ (サービス提供責任者)

居宅介護支援事業

要介護状態になっても、ご自宅で快適な生活ができるよう介護計画を作成し、適切なサービスの提案・提供をいたします。

ご本人様やご家族の意向をもとに充分な話し合いを行い、無理なく笑顔に満ちた生活を目標に多くのサービス提供事業所と連携しておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。



電話：098-972-7595
担当：上原 剛 (介護支援専門員)

